

下記を踏まえ、地域医療構想における各病院の具体的対応方針について、了承することとして良いか。

1. 診療科、疾病群毎に、高度・重症急性期の病院（断らない病院）から、軽症急性期、回復期、慢性期の病院（面倒見のいい病院）へスムーズな連携を行うには、地域の役割分担の仕組みをどう構築し、どう継続するか。
2. 「面倒見のいい病院」の機能を強化するために、介護医療院への転換や訪問看護ステーションの設置等の在宅医療への関わり、また地域の在宅医療の後方支援、ACPへの取組やリハビリ等、どのように行っていくか。
3. 地域での連携を進めていくにあたり、診療所や在宅医療・介護関係機関が、病院との関わりの中で課題と考えていることや今後求めたいこと。
4. 持続可能な救急受入体制を構築するにあたり、病院が、在宅医療・介護関係機関との関わりの中で課題と考えていることや今後求めたいこと。※DNR（蘇生処置拒否）の方針の患者の救急搬送が、救急の受入体制を逼迫させる一因となっている状況も踏まえて。
5. 地域医療構想における各病院の具体的対応方針についての意見。